

30周年記念式典・講演会を終えて



過日（6/14）紫陽花の咲く梅雨の晴れ間、平城高校体育館において約600人が参加して30周年記念事業の第1弾が、盛大にとり行われました。

開式前と休憩時には、平城高校生による吹奏室内楽部の演奏やコーラス部の合唱で場を繋ぎ盛り上げていただきました。



第二部の講演会が始まる頃は、高校生、教育関係者等も続々押しかけ会場も満席となり、用意した椅子も全部使い切りました。



さて、松本先生のお話は、映像と効果音響を駆使して専門分野で



ある宇宙プラズマ、宇宙電波科学、等々を分かりやすく平易に説明されていました。門外漢の私には難解でしたが、さすがに人材の育成に関しては熱が入っており、これからの日本の若者に対する警鐘には説得力がありました。

今回は自治会の行事であるにも関わらず、高校生の司会進行という試みでした。随所に新味を感じていただけたかと思えます。最後に一コマ紹介します。講演後の質疑応答では、一人目は首尾よくすぐに質問者がおられましたが、2人目は出ませんでした。松本先生「他国では、我先にと質問が飛んできますがねえ、日本人気質はこうなんです。」すると女子高生司会者「もう一度言います。ほんとにおーに質問ありませんかあ？」その一言で会場が笑いにつつまれました。最後に女子高生



今回は自治会の行事であるにも関わらず、高校生の司会進行という試みでした。随所に新味を感じていただけたかと思えます。

最後に一コマ紹介します。講演後の質疑応答では、一人目は首尾よくすぐに質問者がおられましたが、2人目は出ませんでした。松本先生「他国では、我先にと質問が飛んできますがねえ、日本人気質はこうなんです。」すると女子高生司会者「もう一度言います。ほんとにおーに質問ありませんかあ？」その一言で会場が笑いにつつまれました。最後に女子高生から花束を渡され、先生が名刺を返礼として出されているシーンも印象的でした。

2015年度版 第1号
朱雀ニュース掲載

